

つながり・支えあおう 地域福祉のすゝめ



■日 時：令和7年10月30日(木)
13時30分～16時00分（開場13時00分）

■会 場：中区役所ホール

主催：名古屋市・社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会

目 次

◆プログラム	P.2
◆講演資料	P.3
守山区上志段味学区地域福祉推進協議会	P.28
名東区高針学区地域福祉推進協議会	P.42
中区社会福祉協議会	P.48
「地域支えあい事業」実施学区への感謝状贈呈のお知らせ	P.57
◆開催概要	P.58

プログラム

13：30 開会あいさつ

13：40 【基調講演】

「地域のつながりの波及効果

～ゆるやかなつながりと持続可能な地域活動～」

講師：同朋大学 社会福祉学部 社会福祉学科

専任講師 加藤 昭宏氏

14：40 【実践報告】

報告団体

守山区上志段味学区地域福祉推進協議会

名東区高針学区地域福祉推進協議会

中区社会福祉協議会

コーディネーター

同朋大学 社会福祉学部 社会福祉学科

専任講師 加藤 昭宏氏

15：55 【事務説明】

※本事業は、地域福祉推進協議会研修を兼ねて開催しております。

「ゆるやかなつながりで育む地域の支えあい」

基調講演

同朋大学 社会福祉学部 社会福祉学科 専任講師 加藤 昭宏氏

実践報告

[報告1] 地域支えあい活動 実践者

守山区上志段味学区地域福祉推進協議会 副会長 杉山 寿雄氏

(民生委員児童委員協議会 会長)

ご近所ボランティアコーディネーター（上志段味ゆるさぽ副代表） 稲垣 ひとみ氏

[報告2] ふれあい・いきいきサロン活動 実践者

名東区高針学区地域福祉推進協議会 会長 櫻井 千速氏

運営ボランティア 山田 美代子氏

[報告3] 孤独・孤立防止につながる支援 実践者

中区社会福祉協議会

地域福祉推進スタッフ 高瀬 真子氏

包括的相談支援スタッフ 船橋 祐子氏

[コーディネーター]

同朋大学 社会福祉学部 社会福祉学科 専任講師 加藤 昭宏氏

講師・コーディネーター/Profile

同朋大学 社会福祉学部 社会福祉学科 専任講師 加藤 昭宏氏

同朋大学社会福祉学部専任講師。医療ソーシャルワーカー、社会福祉協議会でのコミュニティソーシャルワーカーとしての勤務等を経て、2023年4月より現職。

愛知県立大学大学院人間発達学研究科修了（2022年）、博士（人間発達学）。

専門は、コミュニティソーシャルワークの実践理論や伴走型支援、重層的支援体制整備事業における包括的な支援体制の構築に向けた方法論。

中村区子どもをはぐくむ地域づくり（はぐくみ検討会）アドバイザー、中村区社協地域福祉活動計画 推進フォローアップ会議委員等を務める。

2025.10.30 13:30-16:00 「つながり・支えあおう 地域福祉のすゝめ」

@中区役所ホール

地域のつながりの 波及効果

～ゆるやかなつながりと持続可能な地域活動～

同朋大学 加藤昭宏



お伝えしたいポイント（ご依頼内容）

・地域福祉活動の実践者やこれから参加してみたい方などを対象に、地域における住民同士の困りごと解決の取り組みやふれあい・交流を目的としたサロン活動などの実践者による事例発表等を通じて、地域福祉活動への意欲向上や地域の福祉力の向上を目指すもの。

・本年度は、制度・分野ごとの縦割りや「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や多様な主体が協力して、住民一人ひとりの暮らしや生きがい、地域を共に創っていく「地域共生社会」の実現を目指し、テーマは「ゆるやかなつながりで育む地域の支えあい」とする。

⇒「地域共生社会」とはどのようなイメージか、またつながりの強さや持続可能な地域活動のあり方について一緒に考えたいと思います。

自己紹介

- ・博士（人間発達学）・社会福祉士・精神保健福祉士・伴走型支援士
- ・2011年～ 名古屋掖済会病院 医療ソーシャルワーカー
- ・2014年～ 長久手市社協 コミュニティソーシャルワーカー等
- ・2021年～ 半田市社協 コミュニティソーシャルワーカー
- ・2023年～ 同朋大学 専任講師
- ・主著：『社会的孤立へのコミュニティソーシャルワーク実践 地域福祉推進の羅針盤』ミネルヴァ書房
- ・タイ・チェンマイの山奥にある学校へ訪問して、現地の子どもたちや先生たちと交流しています



ミネルヴァ書房

加藤昭宏の自己紹介

来歴：

名古屋市生まれ。

高校生時代は「エネルギーの研究者」を志すも諦める。

「人間だからできる仕事をしたい」と大学で社会福祉の道へ。そこで師匠と出会う。

急性期病院でのMSW時代に大学院への進学を決意。CSW研究をきっかけに、社協へ転職。2市の社協でCSW実践の萌芽期に携わる機会をいただく。

働きながら博士号を取得し大学教員へ。

夢：

- ・実践者が真に使える役に立つソーシャルワーク理論の確立
そしてそれを実践者の皆さまとともに広げていきたい
- ・タイ・チェンマイの子どもたちの幸せ
- ・オーロラを見る
- ・海辺でハンバーガー屋さんをやってみたい



好きなこと：

一人旅、ランニング、コーラ、コーヒー、タイカレー、坦々麺、サウナ、バイク、釣り

旅中、電車から一瞬見える山間の川

松本市の空気感、草間彌生美術館

東京スカパラダイスオーケストラ（谷中敦）

2025年のテーマ「叶えた夢に火をつけて燃やす」

自慢したいこと：

『社会的孤立へのコミュニティソーシャルワーク実践』
1500m走の新記録樹立（昔は体力だけはあった）
助けられ上手

支えられた人々：

佐野先生・松宮先生という2人の師匠

前職の上司や同僚、後輩たち

加藤に相談してくれた多くの方々

全国の仲間たちと、地元の悪友たち

半田市社協/NPO法人野中ケアマネジメント研究会 前山憲一「ケアマネジメントと野中式事例検討会」内資料
「野中猛の自己紹介」スライドを参照に本スライドは作成しました。

外部の委員・アドバイザー関係等（参考）

- ・中村区子どもをはぐくむ地域づくり（はぐくみ検討会）アドバイザー
- ・中村区社協 地域福祉活動計画 推進フォローアップ会議 委員
- ・中村区社協 評議員
- ・中村区 区民会議 コーディネーター
- ・愛知県社協 コミュニティソーシャルワーカー実践研修 講師
- ・愛知県社協 地域福祉活動推進部会 委員
- ・あま市 地域福祉計画・地域福祉活動計画 推進委員長
- ・あま市 高齢者福祉計画・介護保険事業計画 策定委員長
- ・あま市社協 ボランティアセンター運営委員会 副委員長
- ・一宮市 地域包括支援センター運営協議会 会長
- ・蟹江町 地域福祉計画・活動計画 アドバイザー
- ・津島市地域福祉えがおのまち計画策定委員会 委員長
- ・愛知県立大学・愛知教育大学・中京大学 非常勤講師
- ・日本福祉大学 知多半島総合研究所 地域包括ケア部会 研究員 ほか

その他、詳細は「リサーチマップ 加藤昭宏」で検索してみてください。

お伝えしたいキーワード

- ・「関係性」支援の重要性
- ・「つながり」の強さって？
- ・役割を「重ねる」楽しさ

→まずは、自己紹介の続きとして、地域の皆さまと進めてきた
色々な実践事例を紹介させていただきます。

その中で、少しでも参考になるものがあれば幸いです。

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）

行政・社協協働で計画策定→地域福祉圏域単位での配置を

「地域の福祉のなんでも相談員」
として個別相談を行いながら、
「地域福祉の設計士」として、
不安や悩みを抱えている方を
早期に発見し、地域で支え続けられる
仕組み（システム）を作る
相談の専門職



あなたの心の
小さなモヤモヤ、
打ち明けてみませんか？

どこに相談したら
いいんだろう…

何をしても
考えてしまう…

なんでこんな
小さなことで
悩むんだろう…

西小校区担当!! あなたの“**こころの洗濯機**”です。
長久手市社会福祉協議会 地域の福祉のなんでも相談員（CSW）
加藤 昭宏 080-

【問合先】社会福祉法人 長久手市社会福祉協議会 地域福祉係 TEL:0561-62-4700 9時～17時 休館日:月曜日(祝日の場合は翌平日)

その不安・困りごと「何でも」 CSWにおきかしてください！！

相談例

- 不登校の子どもの
将来が心配
- 家族関係で
悩んでいる
- ゴミがたまってる
けど大丈夫？
- ご近所トラブルで
悩んでいる
- 同じ悩みをもつ
人と集まりたい
- 見守りを
お願いしたい
- 認知症などに
ついて知りたい



長久手市社会福祉協議会 地域福祉係
CSW 加藤 昭宏です！

コミュニティ
ソーシャル
ワーカー
CSW
とは

「地域の何でも相談員」として、個別相談を行いながら、「地域福祉の設計士」として、不安や悩みを抱えている方を早期に発見し、地域で支え続けられる仕組み（システム）を作る、相談の専門職です。
どこに相談したらいいかわからない時も、まずはCSWにご相談ください！

社会福祉法人 長久手市社会福祉協議会 携帯：080-
地域福祉係 CSW 加藤 電話：0561-

一人で抱え込まず、まずはその不安な気持ちを言葉にしてください。

回覧

自治会長及び組長の皆さまへ（お願い）

日ごろは、長久手市社会福祉協議会の事業にご協力
いただき厚くお礼申し上げます。

西小校区地区社会福祉協議会（西小地区社協）では、
CSW（コミュニティソーシャルワーカー）を設置し
「地域の福祉の何でも相談」を実施しております。

CSW（コミュニティソーシャルワーカー）及び
「地域の福祉の何でも相談」の周知のため、本案内を
常時回覧袋に入れ、回覧していただきますよう
よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人
長久手市社会福祉協議会 CSW 加藤 昭宏
長久手市西小校区自治会連合会
長久手市役所 福祉部 福祉施策室



地域支援①見守りサポーターの養成

見守りサポーター ながくて

氏名 _____

受講を修了したことを証明します。

年 月 日

社会福祉法人 長久手市社会福祉協議会



発見の目を
増やしていこう

主な活動内容

- ①近所であった時にあいさつをする。
- ②近所であった時に声をかける。
- ③気になる方や心配な方を見つけた時は、
杜協または、地域の民生委員に連絡を
お願いします。
- ④地区杜協の部会員として、地域福祉の
推進活動に協力する。

近所だからこそわかる気付き

- ・ここ何日も洗濯物が干しっぱなしだな
- ・新聞や郵便物がたまたままだな
- ・同じことばかり話すようになったな
- ・よく道に迷っているな

近所だからこそわかる気付き

- ・子どもの泣き声や、怒鳴り声、叩く音がよく聞こえるな
- ・ゴミが溜まっているけど大丈夫かな
- ・ずっと落ち込んでいて寝れていないようだ

地域支援②サロン活動を通じた見守り



地域支援③地区社協活動からの早期発見



見守りサポーター

サロン

地区社協活動

地域福祉学習会

住民同士の  早期発見の目

CSW

個別支援と地域支援を循環させていく

家族不和

不登校

地域住民との協働による
個別支援

精神疾患

自殺企図

ひきこもり

発達障がい

ごみ屋敷

ご近所
トラブル

支援拒否

小学校区単位での全世代全対象地域包括ケアシステム

事例からみる有効性

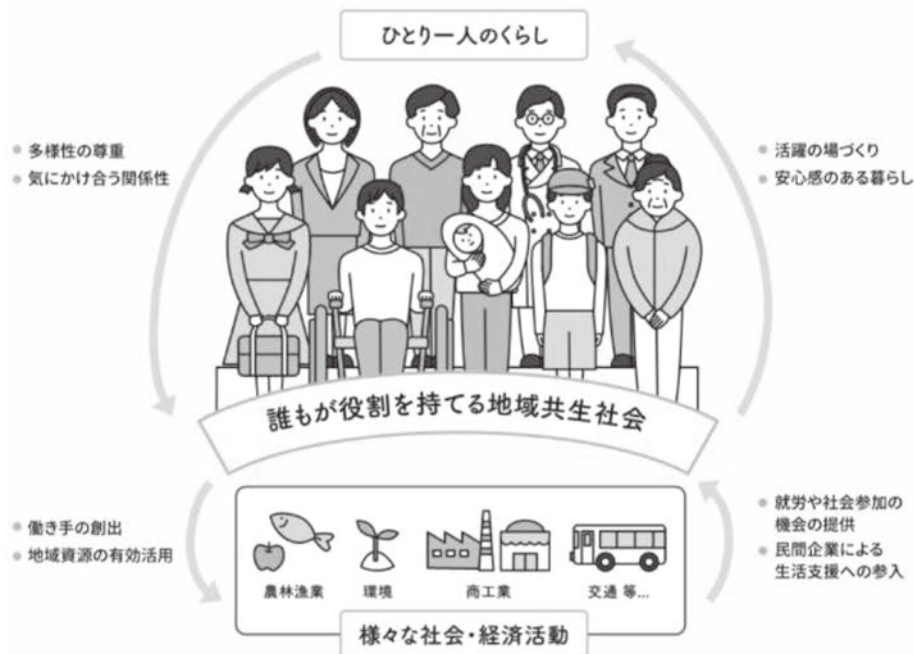
- 妄想性障害の高齢女性
 - 子ども食堂へ調理ボランティアとして参加
 - 料理が得意で大活躍⇒妄想が消失
- ひきこもりの青年
 - CSWとの面談を経て地区社協のチラシ作成へ協力
 - 冊子制作にも協力 ⇒当事者サロンを立ち上げたい！
- 妄想のある生活保護受給の独居男性
 - 「見守りサポーター」上級になり、統合失調症の方の話を聴き役や、高齢者施設での傾聴ボランティアに！

当事者と共に地域福祉の推進を図ることができた



「冊子」、当事者サロンの広報チラシの例





厚生労働省

地域共生社会の実現

- 制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会

地域共生社会と地域包括ケア

厚労省 （2017年4月5日衆議院厚生労働委員会）

「地域共生社会は地域包括ケアの上位概念である」

「高齢期の支援を地域で包括的に確保する『地域包括ケアシステム』の構築が進められてきたが、この『必要な支援を包括的に提供する』という考え方を、障害のある人、子ども等への支援にも普遍化すること、高齢の親と無職独身の50代の子が同居している世帯（いわゆる『8050』）、介護と育児に同時に直面する世帯（いわゆる『ダブルケア』）など、課題が複合化していて、高齢者に対する地域包括ケアシステムだけでは適切な解決策を講じることが難しいケースにも対応できる体制をつくることは、地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の構築につながっていくものである」

「社会的孤立」支援の重要性

・社会的孤立

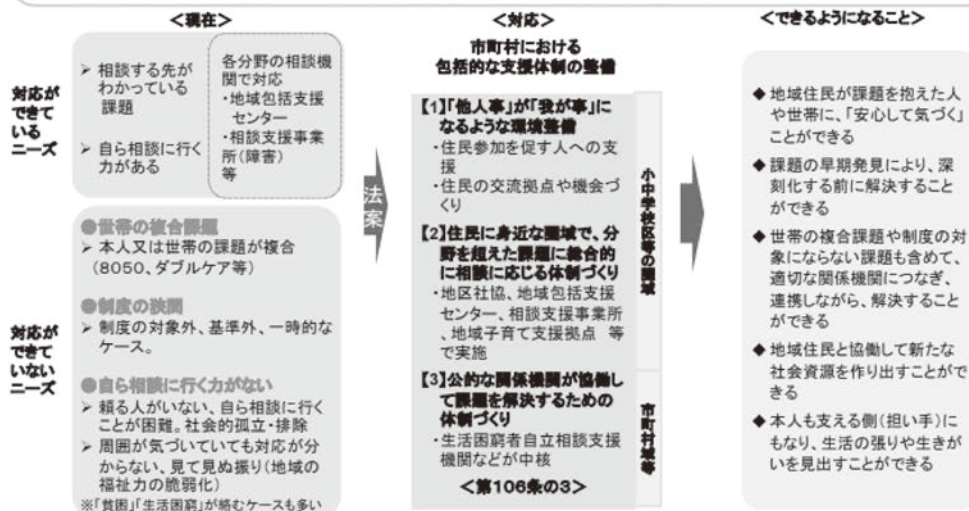
「家族やコミュニティとはほとんど接触がない」という客観的な状態

・孤独

仲間づきあいの欠如あるいは喪失による好ましからざる感情（主観）を意味する

「我が事・丸ごと」の地域づくり・包括的な支援体制の整備

- ◆ 高齢、障害、児童等の各分野ごとの相談体制では対応が困難な、世帯の中で課題が複合化・複雑化しているケース、制度の狭間にあるケース、支援を必要とする人が自ら相談に行く力がなく、地域の中で孤立(時には排除)しているケースなどを確実に支援につなげる。かつ、生活支援や就労支援等を一体的に行うことで、支援を必要としていた人自身が地域を支える側にもなりうるような仕組みづくりを行う。
- ◆ 既存の相談支援機関を活用し、これらの機関が連携する体制づくりを行う。



厚生労働省

対人支援において今後求められるアプローチ
(新たな福祉政策のアプローチ②)

令和元年5月28日「第2回地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協力の推進に関する検討会」資料

支援の「両輪」と考えられるアプローチ



厚生労働省

人と人とのつながりそのものがセーフティネット



厚生労働省

「つながり」について考えてみると・・・

・ 地域福祉の推進
＝ 「 」 の再構築

- ・ 人と人との「関係性」支援
(もともとつながっていた人や活動同士を改めてつなげる／もともとつながっていなかった人や活動同士を新たにつなげる ことも含む)

→ つながりの強さって？



強すぎる「つながり」は他を排除する

- 子育てサロンに「入りにくい」という相談
- 「誰にも相談できなかった」
- 「あの人はちょっと苦手で…」

→ゆるやかな「つながり」をたくさんつくること

「自立」って？

- 「早く自立しましょう」…？
- 自立の反対は？
- 自立とは「_____を増やすこと」

東京大学先端科学技術研究センター 熊谷晋一郎准教授

小括 （地域共生社会の実現に向けて）

- ・「受け手」から「支え手」へ
- ・ゆるやかにつながり続けること
- ・お互いが頼り合えること（＝自立）

→そして、支援が必要な人を（自らSOSを出せない人を含めて）早期に発見し、地域で支えながら、その方も「活躍」できる地域づくりが重要



後継“者”育成のポイント??

- ・「特効薬はない！」

→後継“者”を探す、発見する、そして
バトンタッチする、という考えでは難しい

＝「委員長」などの「役」を、そのまま同じ量だけ別の後継“者”に引き継ぐという発想は、この先厳しいのではないか



「活動」ベースで、役割を重ねていく

- 「役」をやることの限界
→ 「活動」ベースで、役割を重ねること

○「この指とまれ」のPTA活動の例

20の力を5人で→2の力を延べ50人で
⇒「当事者の力」もものすごく大きい

つまり…

「役」をやることの限界

〇〇会長、〇〇委員長などの「役」を、そのまま
同じ量だけ後継「者」に引き継ぐ発想は厳しい。



「役」が担っている業務や役割を可能な限り細分化し、多くの人で分担し「活動」を引き継いでいける
仕組みづくりが重要！

⇒「役割」や「目的」をいかに“重ねられるか”

参考事例 ごちゃまぜの地域づくり：みんなでまちあるき



福祉事業所・地域の二ーズ

福祉事業所

×

地域住民

コロナ禍で地域との活動が
減少してしまった…。

地域住民同士の関係が
希薄になっている…。

子どもを中心に活動できれば…。

まちあるきの目的

大テーマ

“誰もが暮らしやすいまち”であるために地域にはどのようなところがあるか、小学生と一緒に調べてみよう。



分野横断的に、多様な目的のもと実施

参加者と役割

福祉

- 【参加者】
- ・福祉事業所職員と利用者、車いすユーザー、同朋大学、日本福祉大学学生
- 【役割】
- ・クイズの出題補助
 - ・子ども食堂の調理や配膳
 - ・子どもが合理的配慮について考えるサポート

子ども

- 【参加者】
- ・小学生(保護者)、中学生、幼児とその保護者
- 【役割】
- ・各スポットのクイズ回答
 - ・各スポットの「良いところ」や「もっとこうすれば良いところ」の発見
 - ・困っている人のお手伝い

地域

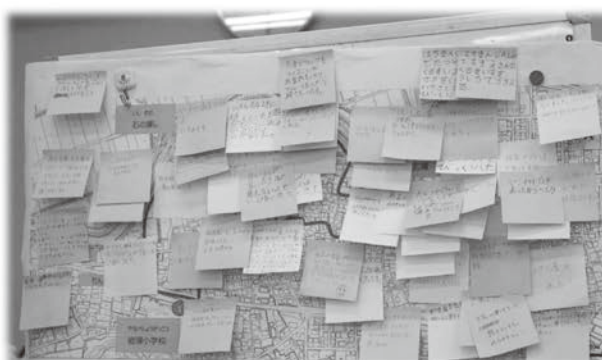
- 【参加者】
- ・区長や旧区役員、民生児童委員、地域サロン利用者など
- 【役割】
- ・まちあるきのスポットやコースの立案・下見
 - ・まちあるき各スポットの説明、クイズ出題

行政・社協

- 【参加者】
- ・市職員、社協職員
- 【役割】
- ・企画・全体マネジメント
 - ・連絡調整
 - ・その他事務等



基調講演



まちあるきをやってみて…

□福祉事業所

- ・事業所の一步外へ目を向けるきっかけとなった。
- ・利用者の社会参加のきっかけになった。子どもと楽しく話していて、違う一面が見られた。
- ・子ども食堂の必要性を実感し、今後も継続して運営できるように体制を整えることにした。

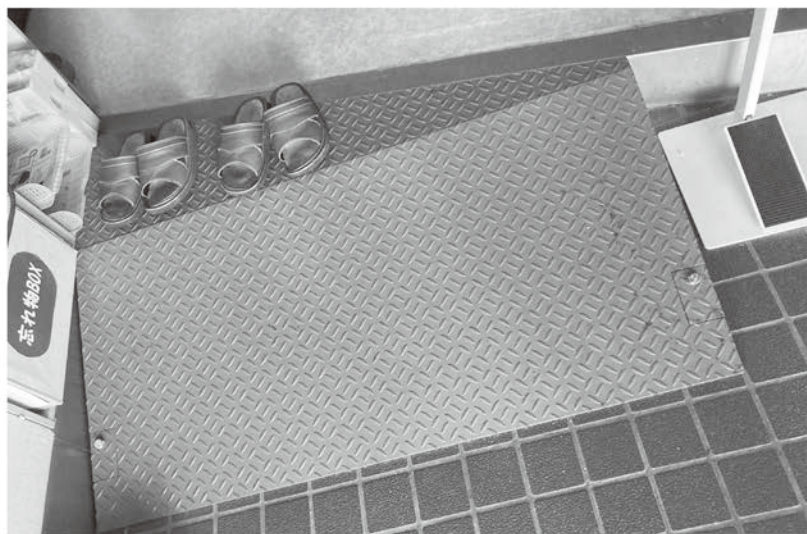
□地域住民

- ・子どもたちに地域の魅力を伝えられることができて良かった。
- ・自分たちの人柄も含めて、子どもたちに知ってもらうことができた。
- ・施設がバリアフリーになっていないことに気づき、まちあるき後すぐ、スロープ化工事を行った。

□子どもたち

- ・車いすの人やベビーカーの人が困っていたら、声をかけたいと思った。
- ・ほかにも、みんなでいろいろな場所に行ってみたい。
- ・将来、ふくしの仕事に就いてみたい。またこのような企画があったら、ぜひ参加したい。

まちあるき後設置されたスロープ！！



ごちゃまぜの地域づくりを

福祉

【参加者】
・福祉事業所職員と利用者、車いすユーザー、
同朋大学、日本福祉大学学生

【役割】
・クイズの出題補助
・子ども食堂の調理や配膳
・子どもが合理的配慮について

地域

【参加者】
・区長や旧区役員、民生児童委員、
地域サロン利用者など

・コースの立案・下見
・説明、クイズ出題

子ども

【参加者】
・小学生(保護者)、中学生、
【役割】
・各スポットのクイズ回答
・各スポットの「良いところ」や「もっとこうすれば良い
ところ」の発見
・困っている人のお手伝い

多世代・多分野をつなぐ
「のりしろ」としての
まちあるき活動

政・社協

・中職員、社協職員
【役割】
・全体マネジメント
・連絡調整
・その他事務等

では、地域づくりにどう活かすか



- ・「活動」をベースに、「役割」を重ねていく
「複数の役割や目的を重ね合わせ」ながら、活動と
いう「動き」を伴う取組みを通して様々な主体が
「一緒に関われる」こと＝結びつき合いに向けた
「関わりしろ」（動的な関わりの“のりしろ”）
づくりが重要！

関わりしろ作りに向けた「かけ算」



- それぞれの“地域”の実状に合わせた
関わりしろ作りに向けた「かけ算」の発想！
 - × 多世代（他世代）
 - × 市民活動
 - × 企業
 - × 当事者
 - × ???

まとめにかえて

- 「関係性」支援の重要性→専門性より関係性
- つながりの強さって？ →つながりで救われる人がいる
- 役割を「重ねる」楽しさ→アイデア＋対話のプロセスを重視
(相手の「強み」を知ることから)

⇒当事者の方を含め、色々な人・活動とつながり、役割を重ねながら、
楽しみながら地域福祉活動を継続していただきたい！

地域の中で「役割」や「居場所」がある意義は大きい！！そして、
誰かの「ふくし」につながっていくことが、地域福祉の醍醐味！！！！

参考文献

☆2025年2月に刊行

☆ひきこもり、不登校、ゴミ屋敷、8050世帯など、社会的に孤立した状況にある人々への支援の必要性が高まる一方で、その実践理論や方法論は十分に精緻化されていない。本書は、筆者自身の複数の社会福祉協議会での実践経験をもとに、コミュニティソーシャルワーク実践と重層的支援体制整備事業の効果的な展開のあり方を探る。迷いながらも日々多くの事例と向き合う地域のソーシャルワーカーにとって、実践の羅針盤となる一冊。

〔ここがポイント〕

- ◎ 「社会的孤立」をどう捉え、どう支えるか、コミュニティソーシャルワーク実践におけるヒントを示す
- ◎ 重層的支援体制整備事業に関わる社会福祉協議会の職員、行政職員などの実務の参考となる
- ◎ 具体的な実践イメージをもちながら地域福祉について学べる



ご清聴ありがとうございました



社会的孤立へのコミュニティソーシャルワーク実践 地域福祉推進の羅針盤



加藤 昭宏 著 (同朋大学社会福祉学部専任講師)

税込価格2,640円/A5判/208頁/2025年2月刊/ISBN:9784623098262

ひきこもり、不登校、ゴミ屋敷、8050世帯など、社会的に孤立した状況にある人々への支援の必要性が高まる一方で、その実践理論や方法論は十分に精緻化されていない。本書は、筆者自身の複数の社会福祉協議会での実践経験をもとに、コミュニティソーシャルワーク実践と重層的支援体制整備事業の効果的な展開のあり方を探る。迷いながらも日々多くの事例と向き合う地域のソーシャルワーカーにとって、実践の羅針盤となる一冊。

[ここがポイント]

- ◎ 「社会的孤立」をどう捉え、どう支えるか、コミュニティソーシャルワーク実践におけるヒントを示す
- ◎ 重層的支援体制整備事業に関わる社会福祉協議会の職員、行政職員などの実務の参考となる
- ◎ 具体的な実践イメージをもちながら地域福祉について学べる

目次

はじめに

序章 「社会的孤立」とコミュニティソーシャルワーカー (掲載コラム)

第1章 「制度の狭間」にある課題を捉える

体制としてのアウトリーチ

第2章 重層的な伴走型支援を展開する

集団的責任

第3章 個別支援と地域支援を統合する

サンタが街にやってくる

第4章 参加支援を推進する

現象化している課題と背景のニーズの違い

第5章 対象者の「内的世界」をつかむ

多数派(マジョリティ)と少数派(マイノリティ)をめぐって

終章 コミュニティソーシャルワーク実践のさらなる深化のための理論素描

子どもサロン「もりもり元気食堂」実践

当事者とともに行うふくし共育実践

妄想分裂ポジション概念からのあおり運転の考察(1)

妄想分裂ポジション概念からのあおり運転の考察(2)

引用・参考文献

内的世界と地域福祉の推進

おわりに

さくいん



ミネルヴァ書房 東京

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-6-1 菱和ビルディング 2 階
TEL: 03-3525-8460 FAX: 03-3525-8461 Email: tokyo@minervashobo.co.jp

- ・お近くの書店(お取り寄せ可)、ネット書店でご購入いただけます
- ・弊社からご購入いただく際は代金引換の宅配便(送料税込880円)でお届けします

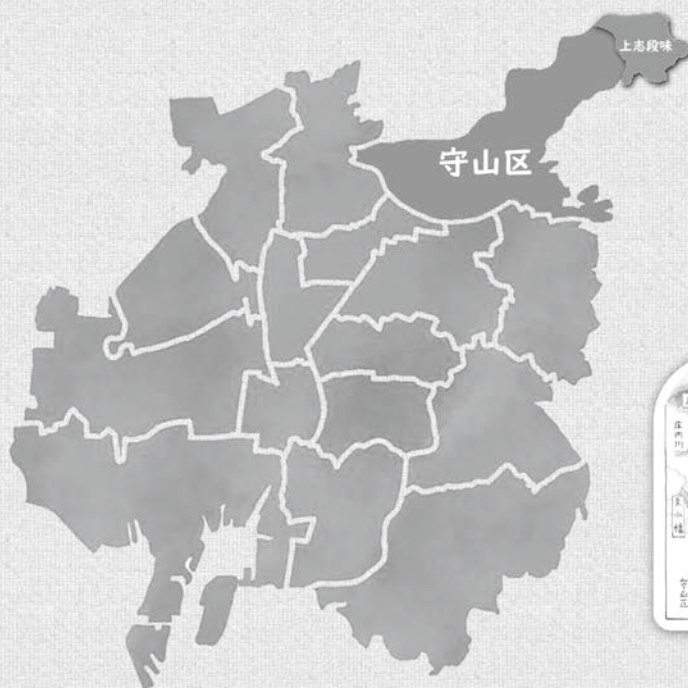


地域支えあい事業



上志段味学区 地域福祉推進協議会

presented by 上志段味学区地域福祉推進協議会



上志段味地区の概要

上志段味は、守山区の北の端に位置し、春日井市や瀬戸市、尾張旭市と接しています。また歴史が古く、1万年前（旧石器時代末）から人々がこの地に住み着き、4世紀末以降に造られた古墳も数多く残っています。



しだみ古墳群ミュージアム HPより 転載

区画整理事業が始まったころの様子、田畑が広がる中に家屋やため池、雑木林が点在するのどかで自然豊かな所です



上志段味特定
土地区画整理組合
上志段味誌 より

区画整理事業が進み、広い幹線道路や生活道路がつくられ、ガイドウェイバスや下水道、都市ガス等のインフラが整備され、スーパー等の大型店舗や飲食店、病院なども次々と進出して、便利で住みやすい閑静な住宅街へと変貌しました。





大久手池から望む東谷山

大塚古墳、白鳥塚古墳など市内で最も多くの古墳があり国の史跡に指定されている



散策路から山頂へは470段の木道で登ります



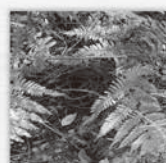
山頂には尾張戸神社



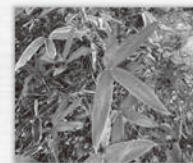
体感！しだみ古墳群ミュージアム

瀬戸市との境には、標高198.3mの東谷山がそびえしだみ古墳群ミュージアム、東谷山フルーツパーク森林公園等の公共施設もあり、緑豊かで自然環境には大変恵まれた地域であるといえます。

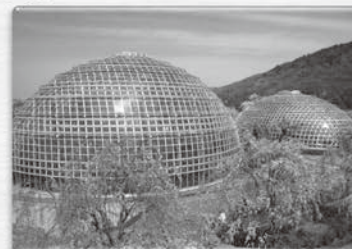
東谷山の固有種で、国立博物館にはサンプルが保存される



トウゴクシダ



シダミコザサ



東谷山フルーツパーク



巣立ち直前のオオタカ



ソウシチョウ（相思鳥）



日本カモシカ



アサギマダラとフジバカマ



日本リス



東谷山
自然豊かな里山



ヤマドリ



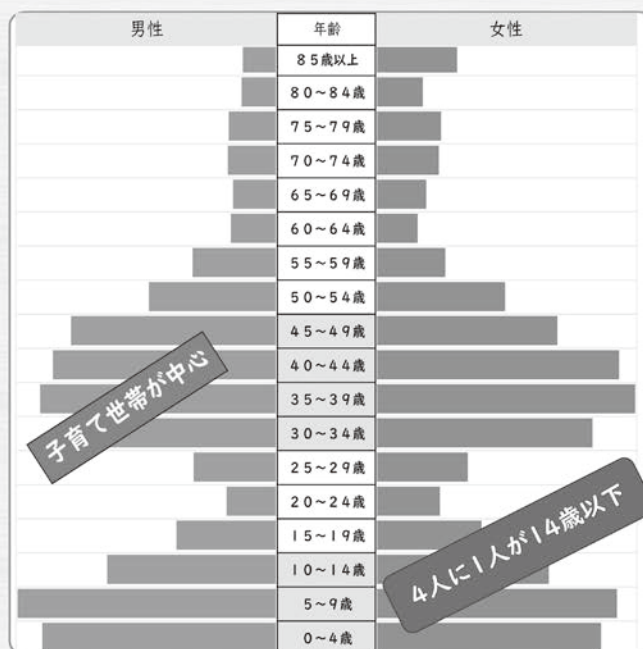
ムササビ

画像提供 古川 雅義

2009年～25年5月 人口推移グラフ



2025年5月 年齢別グラフ



上志段味学区 地域福祉推進協議会

上志段味学区が設けられてから2年を経て
名古屋市では実に19年ぶりとなる
令和5年6月に立ち上がりました

名古屋市で19年ぶり!!
守山区に新たな推進協が立ち上がりました!!

上志段味学区地域福祉推進協議会

令和5年6月1日新たに、上志段味学区地域福祉推進協議会(以下、推進協という)が立ち上がりました。なんと、新たな推進協の立ち上げは名古屋市内で19年ぶりになります。上志段味学区は、令和3年4月に上志段味小学校が開校され、令和8年4月新たに上志段味中学校が開校予定となり、ここ数年で若い子育て世帯の転入者が増加傾向にあります。新しい住民の増加に伴い、住民と地域のつながりが希薄になることが懸念されていました。そこで、上志段味学区では、住民が地域活動に気軽に参加できるような仕組みを作り、お子様やご高齢の方など幅広い世代が交流できる、住民同士の関係づくりを積極的に行っています。組織団体の一つに、上志段味自治会等をゆるくサポートしている「ゆるさば」という団体があります。「できるときに、できることを。」負担なく協力しながら、地域に貢献し、同じ地域に暮らすみんなのための活動ができるよう取り組まれています。

上志段味学区推進協では、そうした「ゆるさば」等の応援を得ながら、みんなが安心して、自分らしく暮らすことのできる、福祉のまちづくりを目指し活動しています。

上志段味自治会
<https://www.kamishidami.net/>

ゆるさば
<https://www.kamishidami.net/support>

上志段味推進協の西村です。生まれたばかりの一人歩きも覚えない団体で、先行する団体を参考にしながらのスタートとなりますので、どうかご指導、ご支援をお願いいたします。ただ、従来の活動の単なる模倣ではなく、「社会福祉とは何か」の原点に立ち返るとともに、地域のニーズに応え、時代、社会の動きなどにも対応しながら、一步一步確実に活動を推し進めていきたいと思っています。

● 上志段味学区推進協の活動風景 ●

健康ひろばの一環
(健康マージャンの様子)

卓を囲み皆さんで
盛り上がっていました!

西村委員長がサンタ
さんに扮して子ども
たちへプレゼントを
渡しました!

クリスマス会の様子

クリスマスワークショップにて
[MORIYAMAライ麦プロジェクト]で育てたライ麦やストロー
を使って北欧の飾り「ヒンメリ」
づくり。用意した席が足りなくなる
ほどの大盛況ぶりでした!

上志段味学区地域福祉推進協議会

組織図



上志段味自治会

区政協力委員会



民生委員児童委員協議会



スポーツ推進委員会

ICTを活用し、組織内の迅速な情報提供により
各組織との連携を図り多彩な活動をサポートする

老人会



保健環境委員会

フレイル予防

環境問題



“ゆるさぽ”とは、もともと自治会の活動をゆるーくサポートするという目的で令和3年度に立ち上げた、若い子育て世帯の母親を中心としたボランティア団体で現在130名の登録があります。自治会や連絡協議会の様々な活動や行事のお手伝いはもちろんIT関連の自治会ホームページや行事の案内チラシの作成等が主な役割です。推進協ができた頃からは、自治会のサポートにとどまらず、自分たちが中心となって、様々な活動・行事に積極的に取り組んできました。

ゆるさぽ
行事例



ハロウィンまちあるき



こどもマージャン教室



かみしだみ わんわんパトロール隊



こども用品おゆずり会



ダンボールピザ窯作り



パン食い競争



30,000個の水ふうせんバトル!!



ドッチビー大会



「地域支えあい事業」の立ち上げ

- ・ 上志段味公民館に相談窓口設置
- ・ ご近所ボランティアコーディネーターを配置
(ゆるさぽ役員2名)

〈 仕事内容 〉

- ・ 相談受付
- ・ 連絡調整
- ・ 報告書作成 等

「地域支えあい事業」 認定事業

高齢者サロン

スマホ教室

かみしだみ

健康ひろば

上志にこにこサロン
健康マージャン

子育てサロン

子育てサロン
る・こぴん

る・こぴん
クリスマス会

ゆるさぽの行事

こども
マージャン教室

おゆずり会

ハロウィンまちあるき

「地域支えあい事業」 認定事業 「高齢者サロン」

かみしだみ 健康ひろば

高齢者向け
スマホ教室

上志にここサロン
活き生き健康マージャン

フレイル予防イベント

かみしだみ 健康ひろば

楽しく体と心をケアしよう
動いて、聴いて、歌って、
楽しく健康チェック！
認知症対策についても
教えていただきます

講師：保健センター 水間さき

対象 誰でもOK！お気軽にご参加ください！

日時 2025年6月20日(金) 10:00~11:30

会場 上志段味公民館ホール **お申し込み 不要**

持ち物 室内シューズ / 飲み物(水分補給用)

今後の開催予定日 2025年 7/18 7/19 10/17

参加費 100円

そもそも「フレイル」ってなに??
「フレイル」とは、加齢によって筋力と体力が徐々に落ち、
要介護の一歩手前になっている状態のこと。着々と悪く
なり、すぐに介護が必要になってしまいます。
早く気づいて予防することで、健康な状態に戻ることが期待できます！

シニア向け 無料 スマホ教室

LINEや
メールも送りたい！
お城の話題も
知りたい！

対象 上志段味地区にお住まいの方

日時 毎月第2金曜日 午前10時~

場所 上志段味公民館

持ち物 普段ご利用のスマートフォン
お持ちでない方は、当日無料貸出あり
持ち帰り無料レンタルも可能(要予約)

開催日
4月11日(金) 5月9日(金) 6月13日(金)
7月11日(金) 9月12日(金) 10月10日(金)
11月14日(金) 12月12日(金) 1月9日(金)
2月15日(金) 3月15日(金) ※休日はお休みです

お問い合わせは お電話で
上志段味公民館 052-736-2350
受付時間 / 平日 10:00~12:00

主催：上志段味学区地域福祉推進協議会、上志段味自治会、上志段味地区公民館、上志段味地区民生委員、上志段味地区児童会

健康マージャン

完全初心者の方でも大丈夫！
みんな楽しく健康マージャンしませんか？
どなたでもお気軽にご参加下さい！

開催日 7月：2・9・16・23日 30日はお休みです
8月：6・13・20・27日

時間 午前 9:30 ~ 11:30

場所：上志段味公民館ホール
参加費：200円 飲み物・清潔な手拭きタオル
定員：40名(先着順)

年齢・男女問わず、初心者大歓迎です！
詳しくは健康マージャン開催日に受付までお問い合わせ下さい！

主催：上志段味学区地域福祉推進協議会、上志段味自治会、上志段味地区公民館、上志段味地区民生委員、上志段味地区児童会

「地域支えあい事業」 認定事業 「高齢者サロン」

かみしだみ 健康ひろば

シニア向け
スマホ教室

上志にここサロン
活き生き健康マージャン



「地域支えあい事業」 認定事業 「子育てサロン」

子育てサロン る・こぴん



る・こぴん クリスマス会



「地域支えあい事業」 認定事業 「ゆるさぽ」

クエストをクリアしてお菓子をもらおう！
無料だよ

ハロウィン
かみしだみ まちあるき

2024
10/27 SUN

スタート 10:00~10:30
最終ゴール 12:00

スタート場所
...
体感！しだみ古墳群ミュージアム
駐車場 特設テント

参加申込み開始
10/13(日)10:00
*定員になり次第受付終了

先着
120組
*定員になり次第受付終了

↓ 詳細&お申込みはこちら ↓



「地域支えあい事業」認定事業 ゆるさぼ

毎年3月開催
おゆずり会

絵本の読み聞かせ
ヒンメリ作り
クリスマス会
おゆずり会



上志段味推進協（上志段味学区地域福祉推進協議会）では
令和6年度より“地域支えあい事業”を始めました。

地域支えあい事業とは

高齢者の皆様の生活上のちょっとした困りごと（従来の介護サービスなどでは対応できないこと）を、ご近所（地域）の住民（ボランティア）の助け合いで解決するしくみをつくる名古屋市の委託事業で、実施主体は学区地域福祉推進協議会です。

生活上のちょっとした困りごとの例

電球の交換・家具等の移動や修理、簡単な剪定（大木や松は×）草取り・草刈り・芝刈り、米・灯油等重い物の買い物、ゴミ出し・衣類等の補修…等

上記例のような困りごとがあれば、担当の民生委員、または上志段味民児協会長の杉山寿雄までお気軽にご相談ください。すべてご希望に添えるかどうかは分かりませんが、2～3人のボランティアで2時間以内に終わる作業なら、できるだけ頑張ってお助けしたいと考えています。もちろん必要な材料費等を請求することはありますが、基本的に費用はかかりません。

また、この事業に協力していただけるボランティアの皆様を募集しています。今のところ15名程のメンバーが登録されていますが、少しでも多くの方に参加していただけると助かります。地域のために貢献したいというやる気さえあればどなたでも大歓迎です。さらに、剪定や草刈り、電化製品や木工製品の修理など専門的な技術や道具をお持ちの方のご協力をお待ちしています。よろしくお願いいたします。

困りごとやボランティアのお問い合わせ先 (052) 736-2350 上志段味公民館

上志段味学区地域福祉推進協議会 会長 西村 右左夫



これまで（8月末時点）のところ、計15件（月平均2件）の相談・依頼があり、そのほとんどに対応することができました。その内容は、庭木の剪定、電球交換（2）、病院の付き添い（車いす介助）、庭の草取り（2）、緑のカーテン（ゴーヤの網）設置、草刈りと低木の伐採、スチール棚の組み立てと設置、新しいホースの接続・培養土の購入・花の苗移植等です。

現在、推進協役員10名を含む計24名の方々にボランティア登録をしてもらっています。その中には案内チラシを配布した一人暮らし高齢者2名の方にも参加してもらっています。また、ボランティアのグループラインを6月に作り、それまで、苦勞していたボランティア同士の連絡・調整・報告等がスムーズに行えるようになりました。



「ボランティア研修会」 開催



はじめてのボランティア研修会を9月4日に上志段味公民館で開催しました。12名が参加し、「地域支えあい事業」のボランティア活動の意義や役割、ボランティア同士のつながりを深めること、これまでの活動状況等について話し合い、意識を高めることにつながりました。

現在は、民生委員が担当する高齢者のみを対象としている〔生活支援活動〕ですが、さらに地域全体に広げていくための周知の徹底、それに伴うボランティアの確保をすすめていくことが必要であると考えています。

「地域支えあい事業」成果と課題

成果（良かった点）

- 「高齢者サロン」や「子育てサロン」「ゆるさぽ関連のイベント」などの〔認定事業〕は毎回多くの参加者を得て、お互いの交流を深めながら楽しんでいること
- 〔生活支援活動〕では、依頼者に変えて喜んでいただいていること。また、ボランティアとして人の役に立つ喜びを味わえたこと
- 参加者や依頼者とボランティア、参加者同士、ボランティア同士のつながりがより深まったこと
- 「高齢者サロン」等の参加者が別の活動のボランティアとして活躍していただくなど地域人材の発掘に繋がったこと
- SNS（LINE等）を通じて若い人たちとの繋がりが増えたことや、住民の声がより届きやすくなったこと

「地域支えあい事業」成果と課題

今後の課題（改善点）

- 「認定事業」では、より多くの方々に安全で楽しく活動していただくための内容の検討や場所の確保
- 「生活支援活動」では、どこまでの要望に応えたらよいか、基準の決め方、また、高齢者以外で困っている方々への周知の方法や、支援のあり方
- スムーズに動けるボランティア態勢の構築と近所で気軽に声を掛け合い、助け合える体制づくり

ご清聴ありがとうございました

令和7年10月30日

上志段味学区地域福祉推進協議会

製作・編集 上志段味自治会 IT推進委員会

①

名東区高針学区

ふれあい・いきいきサロン 「ゆとりあん」の活動について



名東区社会福祉協議会
マスコットキャラクター
風花ちゃん

高針学区地域福祉推進協議会
会長 櫻井 千速
運営ボランティア 山田美代子

②

名東区の地図(19学区)



【 高針学区 】

人口・・・6, 594人



65歳以上の高齢者人口・・・1, 688人

名東区の平均高齢化率・・・23. 5%

高針学区の高齢化率・・・25. 6%

(区内で高齢化率が最も低い学区 17. 7%)

※名古屋市HP 令和7年4月1日現在 公簿人口

◆空き家活用のきっかけ◆

◎話し合いの場を設ける

- ・場所提供の店主
- ・学区推進協会長
- ・民生会長
- ・サロン運営ボランティア
- ・名東区社会福祉協議会
サロン担当者



ゆとりあん

お店は閉めたけど
みんなに知られている
この「空き家」を地域で
活用してほしい！

③



◎市バスの『高針』
バス停が近い



◎集えるような
場所がある

◆建物内の様子◆

おしゃれなスタンド席

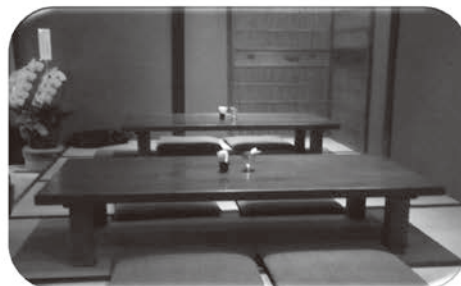


昔懐かしい
雰囲気は
落ち着くわ～



お座敷3テーブル

④



入口



- ・1人で参加の男性も座りやすい
大正ロマンを思わせる、横並びのスタンド席
- ・参加費・・・1人 300円

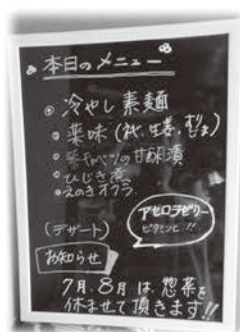
◆季節のメニュー◆



【厨房の様子】



【おかゆ定食(甘味付き)】



【そうめん定食デザート付】

季節に合わせて
メニューを変更
しています！



◆サロン参加者の様子◆

男性も女性も気軽に
参加しています。



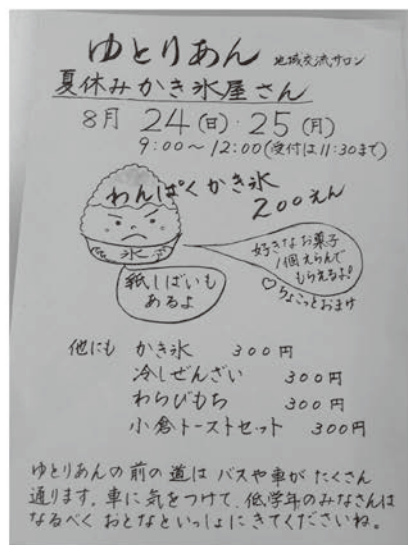
美味しい食事もあり、
ゆったりとした時間を過ごし
ています！
★いつも会う方とお友達に
なったそうです♡



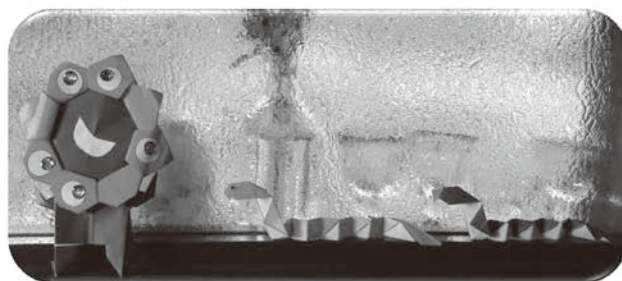
◆学区内のサロンや地域の方との連携◆

7

ボランティアさんの
手書きで、味のある
ご案内チラシ



他の高齢者
サロンの参加者も
飾りに一役
貢献しています！



学区内の高齢者サロンの方の作品

◆夏休み 子どもと高齢者との交流企画の様子◆

8



暑い夏はやっぱり
かき氷だよね～

高齢者と一緒に
紙芝居や冷たい
わらび餅を楽し
んでいます♡



9



このメンバーで
楽しく活動を
頑張っています！



みんなで作る交流の“和”
ボランティア同士も仲間づくりが
できています！

10

ご清聴ありがとうございました。

ほんと
ひと息♡



Memo



マスコットキャラクターな～や

孤独・孤立防止につながる支援

中区地域包括ケア推進会議生活支援専門部会
の取り組み

中区社会福祉協議会
地域福祉推進スタッフ 高瀬 真子
包括的相談支援スタッフ 船橋 祐子
2025年 10月 30日



中区社協マスコットキャラクター
いちよび

【 目次 】

01 生活支援専門部会の取り組み

1-1 生活支援専門部会とは

02 住宅と福祉の連携強化に向けて

- 2-1 名古屋市中区のひとり暮らし高齢者の割合
- 2-2 地域特性から見てきた孤独・孤立防止における課題
- 2-3 集合住宅の管理会社との意見交換
- 2-4 出張講座の内容検討
 - ① 部会内での検討
 - ワークショップの組み入れ
 - ② 一般社団法人マンション管理業協会による監修
- 2-5 出張講座の実施①②

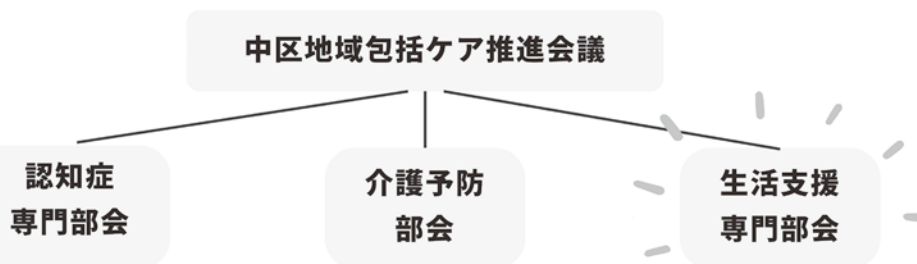
03 まとめ

- 3-1 取り組みを通して学んだこと
- 3-2 今後の展望

01

生活支援専門部会の 取り組み

1-1 生活支援専門部会とは



高齢になっても住み慣れた地域で生活が継続できるよう「中区地域包括ケア推進会議」を設置し、医療、介護、生活支援などが包括的に確保される「地域包括ケアシステム」を推進しています。

その一つの部会である「生活支援専門部会」では、関係機関や地域住民が定期的に集まり、生活支援についての地域課題の把握やその対応策の実施などを行っています。

1-1 生活支援専門部会とは

中区生活支援専門部会の取り組み



生活困窮者の住環境整備のための支援制度の設立

社会的に孤立しており、自力で生活環境を改善することが見込めない世帯に対し、住環境を整備し継続的な支援につなげることを目的としている。



名古屋市住宅確保要配慮者 居住支援協議会との 意見交換と取り組み検討

民間賃貸住宅関係者と連携してできることを検討している。今年度は掲示板を活用した情報周知に取り組んでいる。



マンションの管理会社・ 管理員を対象とした 出張講座の企画検討

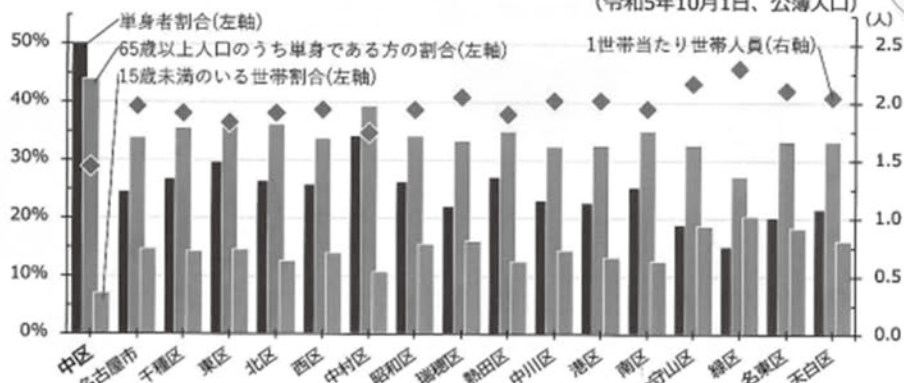
02

住宅と福祉の 連携強化に向けて

2-1 名古屋市中区のひとり暮らし高齢者の割合

■ 単身者割合が高く世帯構成も他区と異なる

単身者割合、65歳以上人口単身者割合、15歳未満のいる世帯割合、1世帯当たり人員
(令和5年10月1日、公簿人口)



中区民の9割以上が
集合住宅に住んでいる

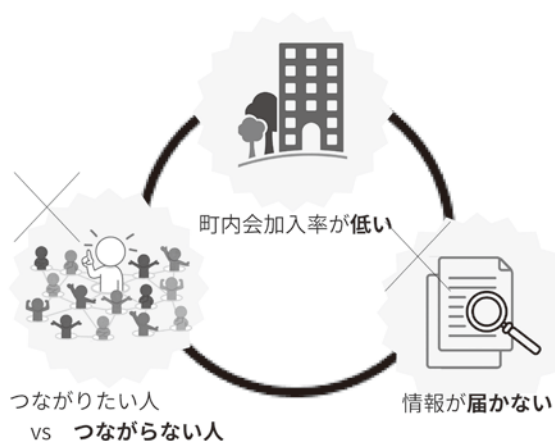
(出典)令和5年住宅・土地統計調査
(令和5年10月1日現在)

「中区将来ビジョン2028」「中区区政運営方針2024」より抜粋

2-2 地域特性から見てきた孤独・孤立防止における課題

step1: 課題抽出

地域特性から見てきた孤独・孤立防止における課題



- ✓ 「つながらない人」を
どのように見守っていくか
- ✓ 「つながらない人」の近く
にいる人はだれか
- ✓ 集合住宅の管理員さんは
住民の様子をよく知っているのでは？

集合住宅の管理会社・管理員対象の
福祉に関する研修を企画検討することに

2-3 集合住宅の管理会社との意見交換

step2: 意見交換

集合住宅の管理会社との意見交換：

名古屋市住宅供給公社、URコミュニティ名古屋住まいセンター、
一般社団法人マンション管理業協会、公益社団法人愛知県共同住宅協会など

集合住宅における福祉課題

- ①住民同士のつながりの希薄さ
- ②緊急連絡先がない方が一定数いる
- ③緊急時の安否確認ができない
- ④高齢化に伴う問題（認知症など）
- ⑤福祉の支援制度情報が届いていない



2-4 出張講座の内容検討

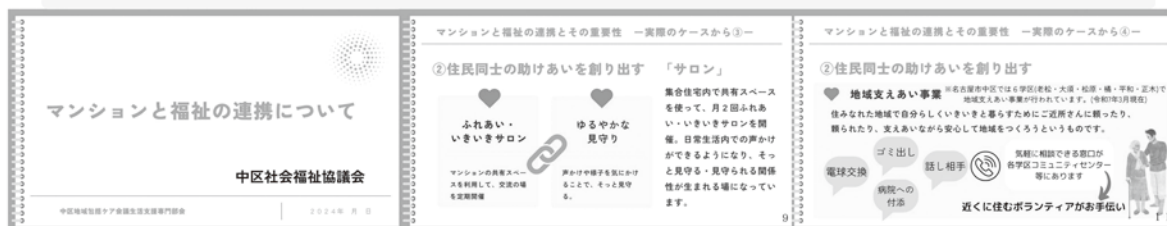
step3: 講座の内容検討

①部会内での検討

研修の概要（講義とワークショップ 45分程度）

ねらい：①管理会社や管理員などに福祉的な視点をもってもらう ②福祉の相談窓口の周知

内容：中区の特性と課題・高齢者に関する相談件数からわかること・ワークショップ・住民同士の助けあいの例（サロン・地域支えあい事業・支えあいマップづくり）・相談窓口の周知



2-4 出張講座の内容検討

ワークショップの組み入れ：

住み慣れた集合住宅で暮らし続けるためには何が必要ですか

- ・車いすでひとり暮らし
- ・家族は遠方でなかなか来られない



→なごやか収集のゴミ箱の設置許可
→エレベーターの開閉時間の変更
→エレベーター工事の周知の工夫

- ・80代の認知症の方
- ・自分の部屋番号を忘れてマンション内で迷ってしまう



→自宅扉に印をつける許可
→民生委員との情報共有
→認知症サポーター養成講座の実施につながる

2-4 出張講座の内容検討

step4: 講座の内容監修

②一般社団法人マンション管理業協会による監修

それぞれの立場や考え方の違い
→講座内容の大幅な変更を求められる



管理員の委託業務外の内容は
講座で協力を求めない

02 まとめ：管理人・管理会社として考えられる福祉の対応・支援			
1 情報提供サービス ・福祉の相談窓口 ・地域の高齢者支援情報（サロン・地域行事など）		3 ちょっとした困りごとへの対応 ・ボランティアの手助けを標準的なサービスに組み入れる ・住民同士の互助を促進（勉強会の開催・サロン開設など）	
2 行政や専門職との連携 ・行政や福祉専門職、民生委員との連携 ・訪問時の協力（オートロックの対応など）		4 見守りシステムの導入 ・民間の見守りサービス ・鍵の預かりサービス ・支えあいマップづくり	

× 上記のスライドが全カットとなった



2-5 出張講座の実施

出張講座の実施①

日付: 令和7年6月12日

対象者: 近鉄住宅管理株式会社職員11名
(職種: フロント)

気づき・発見

- ・異業種間交流の重要性
 - お互いのできること/できないことがわかる
 - 得意分野の違いがある (管理会社側: ハード面/福祉側: ソフト面)
 - 次のステップ: 両者の狭間を埋めるためにできることは?
- ・具体的な事例検討が相互理解を促す



2-5 出張講座の実施

出張講座の実施②

日付: 令和7年9月25日

対象者: 一般社団法人マンション管理業協会
会員会社21社50名(職種: フロント)

気づき・発見

- ・出張講座を通して、福祉の制度や取り組みを知ってもらうことができる
- ・管理するマンションごとに福祉課題が異なり、住民同士のコミュニティづくりなどに関心を寄せる管理会社もある



03

まとめ

取り組みを通して学んだこと
今後の展望

3-1 取り組みを通して学んだこと

✓ お互いの強みを生かした協働が可能

住宅関係者は設備やバリアフリー化などのハード面、福祉関係者は相談やサービス提供、つながりづくりなどのソフト面から住民を守ることができる。

✓ 一個人としても 孤立防止の理解が深まる

講座の参加者は、業務の中だけではなく、地域で暮らす住民のひとりとしても孤立防止の理解が深まっていく。



3-2 今後の展望

緩やかな見守りネットワークの拡充に向けて

- ✓ 「つながらない人」がいつかだれかとつながりたいと思った時に必要な情報が届くようなしくみづくり

✓ マンションの管理会社・管理員対象の出張講座の継続実施

✓ マンション住民の気づきを醸成する取り組み

→ マンションの掲示板を活用した情報周知



「つながらない人」の異変を察知する
アンテナをもってもらう



[THANK YOU!]

ありがとうございました！

中区社会福祉協議会
中区地域包括ケア推進会議
生活支援専門部会



「地域支えあい事業」実施学区への感謝状贈呈のお知らせ

名古屋市及び名古屋市社会福祉協議会では、長年にわたる「地域支えあい事業」の実施を通して、地域における支えあい活動の推進に尽力されている方々に対して、長年のご尽力に感謝して感謝状の贈呈を行っています。

《令和7年度感謝状贈呈学区の紹介》

【名古屋市社会福祉協議会会長感謝（5年以上） 贈呈学区一覧】（敬称略）

千種区	春岡学区
北 区	杉村学区
西 区	上名古屋学区
中村区	日比津学区
中 区	大須学区
瑞穂区	井戸田学区
中川区	戸田学区
港 区	福田学区、福春学区
守山区	小幡北学区
名東区	高針学区

【市長感謝（10年以上） 贈呈学区一覧】（敬称略）

東 区	筒井学区
西 区	浮野学区
中村区	則武学区
昭和区	川原学区
瑞穂区	堀田学区
熱田区	白鳥学区、大宝学区、船方学区
中川区	常磐学区、千音寺学区、昭和橋学区
港 区	神宮寺学区
南 区	白水学区
守山区	本地丘学区、吉根学区、白沢学区
緑 区	鳴子学区、長根台学区、戸笠学区
天白区	しまだ学区

つながり・支えあおう

参加無料

会場定員 300名
オンライン受講可

地域福祉のすゝめ

「誰もが安心して暮らせる地域をつくるには、何ができるだろう？」

少子高齢化や多様化が進むいま、地域の中で支え合う仕組みがますます大切になっています。本セミナーでは、福祉の専門家による基調講演と名古屋市内で困りごと解決や交流に取り組まれている活動者からの実践報告を通し、一人ひとりの暮らしや思いを大切にすることのできる地域づくりの実現に向けて共に考えます。

地域福祉に関心のある皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日程

令和7年 **10月30日** (木)

13:30 ~ 16:00 (13:00開場)

会場

中区役所ホール

(中区栄4-1-8 中区役所地下2階)

※集合型とオンライン (YouTubeライブ) の併用で開催します

内容

**「ゆるやかなつながりで育む
地域の支えあい」**

基調講演

**「地域のつながりの波及効果
～ゆるやかなつながりと持続可能な地域活動～」**

同朋大学 社会福祉学部社会福祉学科

専任講師 加藤 昭宏 氏

実践報告

- **地域支えあい活動 実践者**
守山区上志段味学区地域福祉推進協議会
副会長 (民生委員児童委員協議会 会長) 杉山 寿雄 氏
ご近所ボランティアコーディネーター
(上志段味ゆるさば副代表) 稲垣 ひとみ 氏
- **ふれあい・いきいきサロン活動 実践者**
高針学区地域福祉推進協議会
会長 櫻井 千速 氏 ・ 山田 美代子 氏
- **孤独・孤立防止につながる支援 実践者**
中区社会福祉協議会
地域福祉推進スタッフ 高瀬 真子 氏
包括的相談支援スタッフ 船橋 祐子 氏



アクセス
地下鉄栄駅12番出口から東へ徒歩1分
※参加者用の駐車場はございませんので
公共交通機関をご利用ください。



同朋大学
社会福祉学部社会福祉学科
専任講師 加藤 昭宏 氏

同朋大学社会福祉学部専任講師。医療ソーシャルワーカー、社会福祉協議会でのコミュニティソーシャルワーカーとしての勤務等を経て、2023年4月より現職。愛知県立大学大学院人間発達学研究科修了 (2022年)、博士 (人間発達学)。

主催：名古屋市・社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会

この事業の財源の一部として「名古屋市福祉基金 (地域福祉推進・子育て支援基金)」が使われています。

参加対象者

- ▶地域福祉活動（地域支えあい活動、ふれあい・いきいきサロン活動など）の実践者
- ▶これから地域福祉活動に参加してみたい方（勤労者など）
- ▶企業・商店・社会福祉法人・NPO法人・ボランティア団体・協同組合・大学・専門学校の皆さんなど

お申し込みについて

下記の参加申込書をFAX・郵送・Eメールのいずれかでお送りください。Eメールで申し込む場合はタイトルを「地域福祉のすゝめ申込」とし、参加申込書の内容を記載してください。

※参加申込書に記載された個人情報は、本件開催に関してのみ使用します。

参加ご希望の皆さまへ

- オンライン視聴希望の方には、参加申込書に記載いただいたEメールアドレスに受講、および資料ダウンロードに必要なURL等をお送りいたします。事前申込者に限り、終了後一定期間アーカイブ配信を視聴できます。
- 会場参加ご希望の方には、会場定員（300名）を超過するお申し込みがあり、参加いただけない場合のみご連絡します。連絡が無ければ当日直接会場へお越しください。

申込・問合せ先

社会福祉法人 名古屋市社会福祉協議会

〒462-8558 名古屋市北区清水四丁目17番1号 名古屋市総合社会福祉会館5階
(担当：地域福祉推進部／倉・野々部)

電話

052-911-3193

E-mail chiiki-s3@nagoya-shakyo.or.jp

FAX

052-917-0702

つながり・支えあおう 地域福祉のすゝめ 参加申込書

※オンライン受講希望の場合は記入欄に○を付け、Eメールアドレスを記入してください。

ふりがな 個人名	団体名・所属 ※団体等に所属の場合は記入	電話番号	オンライン 受講希望	E-mail ※オンライン参加の場合は必須
連絡担当者 ※団体から複数参加の場合	車いす使用の方、手話通訳、要約筆記、介助等が必要な場合は、その旨ご記入ください。			

申込締切

令和7年10月10日（金）必着

Handwriting practice lines consisting of multiple sets of three horizontal dashed lines.





ひとに、ひたむきに。

**社会福祉法人
名古屋市社会福祉協議会**

(担当：地域福祉推進部)

〒462-8558

名古屋市北区清水四丁目17-1 名古屋市総合社会福祉会館5階

TEL 052-911-3193 FAX 052-917-0702

名古屋市社協ホームページ <https://www.nagoya-shakyo.jp/>

この事業実施には「名古屋市福祉基金(地域推進・子育て支援基金)」が使われています。